

保護司の役目

保護司 内保 隆幸

罪を犯した人が社会復帰をした時、スムーズに社会活動ができるように手助けをするのが保護司の役目です。しかし、正直その役目を十分理解せず20年ほど前にこの役目を受けました。その後、何人かを担当し、いろいろな話を聞いてきました。出来る限り寄り添うようにして、思いを伝えてきたのですが、伝わらない人もいましたし、思いを受け入れようとしない人もいましたし、理解しているふりをしている人もいました。しかし、社会の中で自分の居る場所を求めているのは伝わってきました。その一方でその人たちを受け入れようとしない社会があることも感じました。

『前科者』という映画を観ました。有村架純が演じる20代の保護司が自分自身と向かい合いながら罪を犯した人と向かい合う映画です。映画ですので少し過剰かなと思うところもありましたが、自ら保護司になり、相手に共感し、共にあろうとする、その行動力や熱心さには感心しました。

実際はこのような20代の保護司はほとんどいません。映画の中でも出てきますが、働きながら、保護司という役目をはたしていくのは大変です。そのためか、保護司の多くは、退職されてからの人が多いのが現状です。保護司の平均年齢は65歳ぐらいであると聞いています。私自身も60歳を超えていますが、伊賀市の保護司の中では中堅より少し下の方になります。

現在、犯罪の件数は減少しています。私自身、保護司として罪を犯した人と向かい合うことも減ってきています。保護司という仕事なくなるような世の中になればいいのですが、なかなか容易なことではありません。そうなるための一つとして、罪を犯した人が社会に戻った時、孤立させないこと、寄り添う人がいることが大切です。その窓口が保護司であると考え、努力していこうと思っています。さらにこれからのために、より若い世代で志をもって保護司をやりたいという人が出てきてほしいと願っています。

保護司というボランティア

保護司は県ごとに定められた保護区ごとに保護司会を組織しています。伊賀市は伊賀保護区で伊賀保護司会が組織されています。伊賀保護司会では保護司の連携を図り、意見交換や研修を行い、他の更生保護団体と連携し、犯罪・非行の予防などの活動を行っています。その一環として市民の皆様に保護司の活動を知っていただくために『伊賀保護司会だより』で広報活動を行っています。

また、更生保護活動の拠点として『伊賀更生保護サポートセンター』を平成30年7月に開設しました。火・木・土曜の午前9時から12時、午後1時から4時、保護司が常駐しています。更生保護や保護司について知りたいことがある方や興味のある人は気楽に訪ねて来て下さい。場所は伊賀市総合福祉会館の2階です。

令和5年度保護司会活動報告

伊賀保護司会では本年度、『就労支援』など保護観察に関わる研修会や名古屋刑務所の視察の研修旅行などを行いました。また、『社会を明るくする運動』への協力、教育の現場の様子を知るための中学校訪問を行い、更生保護協力雇用主などの更生保護団体や名張保護司会との交流を行ってきました。



研修会



社明総会



研修旅行（名古屋刑務所訪問）



中学校訪問



協力雇用主総会



名張保護司会との合同研修



※伊賀保護司会では、犯罪や非行をした人を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主」を募集しています。